



## 2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社オープンハウスグループ 上場取引所 東  
 コード番号 3288 URL <https://openhouse-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福岡 良介  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 若旅 孝太郎 (TEL) 03-6213-0776  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年9月期第1四半期の連結業績 (2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年9月期第1四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	329,850	4.3	40,292	17.3	39,246	13.3	27,407	19.6

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 32,569百万円(△1.7%) 2025年9月期第1四半期 33,143百万円(7.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年9月期第1四半期	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	243.81	243.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年9月期第1四半期	百万円	百万円	%
2025年9月期	1,435,516	557,348	38.7

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 556,116百万円 2025年9月期 537,625百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年9月期	—	84.00	—	94.00	178.00
2026年9月期(予想)	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2026年9月期の連結業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
第2四半期(累計)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	691,600	7.5	84,300	14.3	81,200	13.4	56,900	22.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期 1Q	116,707,300株	2025年9月期	120,709,700株
-------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年9月期 1Q	4,564,134株	2025年9月期	8,174,834株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年9月期 1Q	112,414,986株	2025年9月期 1Q	116,508,240株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用関連会社)は、2023年11月に策定した「3カ年の経営方針(2024年9月期～2026年9月期)」に掲げる経営目標の達成を目指して業務に取り組んでおります。

当第1四半期連結会計期間における業績は、売上高は329,850百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は40,292百万円(同17.3%増)、経常利益は39,246百万円(同13.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27,407百万円(同19.6%増)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### (戸建関連事業)

戸建関連事業につきましては、当社グループの展開エリアにおける戸建住宅に対する需要は回復傾向にあります。当第1四半期連結会計期間の引渡しは前年同期並みとなったものの、売上総利益率は改善しており、今後の引渡しに繋がる販売契約は好調に推移しております。

その結果、売上高は198,723百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は23,040百万円(同0.7%減)となりました。

#### (マンション事業)

マンション事業につきましては、物件の引渡しが第4四半期連結会計期間に集中するため、当第1四半期連結会計期間に引渡しを迎えた物件は多くはないものの、販売契約は順調に進捗しております。

その結果、売上高は8,256百万円(前年同期比129.8%増)、営業利益は572百万円(前年同期は965百万円の営業損失)となりました。

#### (収益不動産事業)

収益不動産事業につきましては、当社グループが顧客とする事業法人、富裕層が投資対象とする賃貸マンション、オフィスビル等に対する高い需要を背景として、業績は伸長いたしました。

その結果、売上高は50,690百万円(前年同期比64.5%増)、営業利益は7,133百万円(同100.5%増)となりました。

#### (その他)

その他につきましては、国内の富裕層における、資産分散を目的とするアメリカ不動産に対する投資需要が高く、販売が順調に推移いたしました。

その結果、売上高は34,532百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益は3,842百万円(同4.1%減)となりました。

#### (プレサンスコーポレーション)

プレサンスコーポレーションにつきましては、主要販売エリアの近畿圏、東海・中京圏において、好立地の投資用及びファミリーマンションの販売に注力いたしました。

その結果、売上高は37,644百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益は5,231百万円(同25.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,435,516百万円となり、前連結会計年度末と比較して23,514百万円増加しました。これは主として、現金及び預金が48,724百万円減少した一方で、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が合わせて53,703百万円、営業貸付金、その他（流動資産）、営業未収入金及び契約資産が合わせて16,738百万円増加したこと等によるものであります。

負債の合計は878,168百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,000百万円増加しました。これは主として、未払法人税等が14,655百万円、引当金（流動負債）、営業未払金及び電子記録債務が合わせて10,603百万円減少した一方で、短期借入金及び長期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）が合わせて32,798百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の合計は557,348百万円となり、前連結会計年度末と比較して18,513百万円増加しました。これは主として、剰余金の配当が10,578百万円あった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を27,407百万円計上したこと等によるものであります。なお、当第1四半期連結会計期間において実施した自己株式の消却及び取得の詳細につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）（自己株式の消却）（自己株式の取得）」に記載の通りであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想、第2四半期末及び期末の配当予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	421,898	373,174
営業未収入金及び契約資産	21,210	23,321
販売用不動産	167,551	162,333
仕掛販売用不動産	602,444	661,366
営業貸付金	71,536	79,295
その他	28,755	35,624
貸倒引当金	△582	△732
流动資産合計	1,312,814	1,334,382
固定資産		
有形固定資産	30,617	30,931
無形固定資産	2,277	2,300
投資その他の資産	66,291	67,901
固定資産合計	99,186	101,133
資産合計	1,412,001	1,435,516
<b>負債の部</b>		
流动負債		
支払手形	357	20
営業未払金	43,785	40,274
電子記録債務	6,482	3,490
短期借入金	191,226	201,018
1年内償還予定の社債	110	110
1年内返済予定の長期借入金	70,292	80,922
未払法人税等	25,729	11,074
引当金	8,691	4,590
その他	66,241	64,216
流动負債合計	412,916	405,719
固定負債		
社債	14,685	14,694
長期借入金	443,748	456,115
引当金	231	239
退職給付に係る負債	103	95
資産除去債務	307	307
その他	1,173	996
固定負債合計	460,250	472,448
負債合計	873,167	878,168

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
<b>資本金</b>	<b>20,235</b>	<b>20,235</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>32,821</b>	<b>32,821</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>514,871</b>	<b>509,714</b>
<b>自己株式</b>	<b>△44,895</b>	<b>△26,422</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>523,033</b>	<b>536,347</b>
その他の包括利益累計額		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>34</b>	<b>54</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>14,557</b>	<b>19,714</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>14,592</b>	<b>19,768</b>
新株予約権	998	1,036
非支配株主持分	209	195
<b>純資産合計</b>	<b>538,834</b>	<b>557,348</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,412,001</b>	<b>1,435,516</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)	(単位：百万円)
売上高	316,131	329,850	
売上原価	259,100	265,098	
売上総利益	57,031	64,752	
販売費及び一般管理費	22,679	24,459	
営業利益	34,352	40,292	
営業外収益			
受取利息	518	693	
受取配当金	32	1	
受取家賃	42	67	
為替差益	1,065	367	
その他	580	318	
営業外収益合計	2,239	1,448	
営業外費用			
支払利息	1,542	2,245	
支払手数料	164	27	
持分法による投資損失	7	17	
その他	224	203	
営業外費用合計	1,937	2,493	
経常利益	34,653	39,246	
税金等調整前四半期純利益	34,653	39,246	
法人税等	10,654	11,862	
四半期純利益	23,999	27,384	
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,078	△23	
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,920	27,407	

## 四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	23,999	27,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	19
為替換算調整勘定	9,072	5,159
持分法適用会社に対する持分相当額	3	6
その他の包括利益合計	9,144	5,185
四半期包括利益	33,143	32,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,060	32,583
非支配株主に係る四半期包括利益	1,083	△14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却)

当社は、2025年10月16日開催の取締役会決議に基づく自己株式の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金と自己株式が21,980百万円減少しております。

(自己株式の取得)

当社は、2025年11月14日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が3,508百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	戸建関連 事業	マンション 事業	収益不動産 事業	その他	プレサンス コーポレー ション	計		
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	197,359	1,690	27,892	35,166	41,365	303,474	3	303,478
その他の収益	4,892	1,902	2,923	1,377	1,557	12,653	—	12,653
外部顧客への 売上高	202,251	3,593	30,816	36,543	42,923	316,128	3	316,131
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,564	22	23	17	66	1,694	△1,694	—
計	203,816	3,615	30,839	36,561	42,989	317,822	△1,690	316,131
セグメント利益 又は損失(△)	23,201	△965	3,557	4,006	4,155	33,956	396	34,352

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額396百万円には、セグメント間取引消去1,309百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△913百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	戸建関連 事業	マンション 事業	収益不動産 事業	その他	プレサンス コーポレー ション	計		
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	197,315	8,256	49,702	32,829	36,048	324,153	3	324,156
その他の収益	1,407	—	988	1,702	1,595	5,693	—	5,693
外部顧客への 売上高	198,723	8,256	50,690	34,532	37,644	329,847	3	329,850
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	574	9	20	40	—	644	△644	—
計	199,297	8,265	50,711	34,572	37,644	330,492	△641	329,850
セグメント利益	23,040	572	7,133	3,842	5,231	39,820	471	40,292

(注) 1. セグメント利益の調整額471百万円には、セグメント間取引消去1,531百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,059百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	547百万円	510百万円
のれんの償却額	213	66

(重要な後発事象)

該当事項はありません。